

国内でも乳房予防切除例

がん未発症の片側

聖路加国際病院

米人気俳優アンジェリーナ・ジョリーさんが(37)が受けて話題になった乳がんを予防するための乳房の切除・再建手術について、聖路加国際病院(東京都)が院内の倫理委員会承認を得ていたこと

が20日分かった。すでに倫理委員会に申請する。将来、乳がんになる確率が高いとはいえ、発症前の健康な体の一部を切除する手術の是非は論議を呼びそ

うだ。両病院では遺伝性乳がんに関する遺伝子

「BRCA1」か「BRCA2」に変異が見つかり陽性だった人が予防切除の対象。多くは小まめな検診で対応するが、選択肢の一つとして予防切除の体制を整えることにした。

聖路加国際病院では、2011年7月に倫理委員会が承認。乳がんを発症する前に切除した例はないが、発症後に健康な方の乳房を切除したケースがあった。

がん研有明病院では、遺伝子検査で陽性だった場合には、早期にがんを発見し治療するため、医師の診察を3カ月ごと、マンモグラフィーなどの画像検診を半年ごとにするなど、検診を強化している。現時点で予防切除の希望者はいない。

おーい
栗え助
森栗丸



小満(しょうまん) 果実(かじつ)実(み)り
草木(くさき)茂(しげ)る頃(ころ)
万物(ばんぶつ)が成長(せいちょう)し
次第(たいだい)に満(み)ち
マくる
こと。

万(ばん)物(ぶつ)かあー
おれにも小満(しょうまん)..
きてくれるかな
三助(さんすけ)!!

久(く)し(び)りに
来(き)てみりゃ
なん(なん)だいこりゃ
草(くさ)は
ホウ(ほう)ホウ

母(かみ)ちゃん..
セ(せ)ゲも
ホ(ほ)ーホー